

夢 現

～ 自分と向き合う ～

愛西市立八開中学校

2年道徳通信

令和3年4月20日

No. 1 (道徳)



「人と関わる時に大切な礼儀の心とは、どんなものだろう」～道徳「学習机」を通して考えました～

新入社員だった頃、「私」は、注文されたものと違う型の学習机をお客さんに配達してしまいました。謝って交換すると申し出たものの、お客さんは、電話でかなり怒っています。ベテラン販売員の大枝さんに相談しますが、「交換すればよいというものではない。」と諷められました。その言葉に、「私」は、直接お客さんのところにお詫びに行くことを決心します。同行した大枝さんが、深くおじぎをして詫びると、あんなに怒っていたはずのお客さんは、穏やかに対応して許してくれたのでした。授業では、「私」のお客様に対する気持ちの変化に注目し、テーマについて考えました。

●● ●●さん

人と関わる時は、人の気持ちを一番に考えることが大切。

●● ●●くん

自分も軽い気持ちで対応しているかもしれないと思った。
人と関わる時は、真心を込めて接したい。

●● ●●さん

礼儀は、その人の第一印象が決まったりする大事なことで、お辞儀をしっかりとしたり、気持ちを込めるだけでも、とても大切なことだと思った。

●● ●●さん

人と関わる時、相手の気持ちを考えることは大事だけど、それは、目上の人だけでなく、家族や友達、年下の人と関わる時にも大切だと思った。

●● ●●さん

この授業を通して、改めて礼儀は大切だなと思いました。今までも「ありがとう」、「ごめんなさい」は言ってきたけど、気持ちを込めたかといわれると分からない部分もある。これからはもっと心を込めて言いたい。

●● ●●くん

人と関わる時は、相手のことも考え、責任をしっかりとつことが大切だと思う。「ありがとう」、「ごめんなさい」のような“あいさつ”を言うことも大切。

●● ●●さん

自分が軽く思っていて、行動に出ていなくても、相手には伝わってしまうものなんだと思った。これから、人と接していくうえで、感謝の気持ちを忘れずに、相手の気持ちをよく考えようと思った。

●● ●●さん

ただ相手に謝ったり、「ありがとう」言うのではなく、思いを込めて言うと、相手にも思いが伝わるので、思いを込めて言うことが大切だと思った。

